



TONAMI

第102期 報告書

2021年4月1日 ▶ 2022年3月31日

TONAMI

トナミホールディングス株式会社
TONAMI HOLDINGS CO.,LTD.

証券コード 9070

トナミホールディングス

グループビジョン

「和」の経営理念を実践し、
経営基本方針に基づいて「企業の社会的責任(CSR)」を
果たしていききたいと考えております。

トナミホールディングスグループは、『輸送を通じ社会に寄与し事業の発展をはかる』を経営基本方針とし、「事業活動のあらゆる局面において、コンプライアンスを徹底する」ことを行動原則とし、企業の社会的責任を果たしていききたいと考えております。

社員行動 規範

社会的責任と公共的使命の重みを常に意識し、
強い遵法精神と社会的倫理に基づき、良識をもって行動します。

私たちは、

- お客様に、常に安全・確実・迅速な物流サービスを提供します。
- 地球環境を守るために、物流サービスのあらゆる段階において環境負荷低減に努めます。
- 輸送活動にあたって、法・社会倫理・社内規程を遵守します。
- 公正な企業活動をします。
- 整理・整頓に心がけ、清潔を保って快適な作業環境を維持します。
- 基本的人権を尊重し、良好な職場環境を維持します。
- 企業情報・得意先情報・個人情報の保護に細心の注意を払います。
- 得意先の価値創造に役立つコンセプトを構想、提案します。
- コンピュータ・ネットワークの不正な利用、業務目的以外の使用をしません。



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の流行により影響を受けられたすべての皆様にお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い収束を心よりお祈り申し上げます。

物流業界では、国内貨物輸送量は2020年度のコロナショックの反動により、5年ぶりの増加に転じておりますが、依然としてコロナ禍以前の水準までには戻っておりません。一方で、倉庫・宅配・3PLにおいては、EC需要の増加を受けて、物流施設の需給がひっ迫するなど、比較的堅調に推移しております。また、原油高やウクライナ情勢等により、燃料価格や原材料価格が高騰しているほか、労働力不足への懸念についても、少子高齢化などの構造的な課題は解消しておらず、人件費や必要コスト増大への対応など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「第22次中期経営計画(2021年4月1日～2024年3月31日):コーポレート・スローガン『TONAMI NEW PLAN 2023』」の取組みを進めております。新しい経営ステージをめざし、過去最高の業績目標に加え、DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用した物流システムの展開やM&A、設備投資の積極展開などをはかり、社会の持続的な発展にも寄与できるよう計画達成にむけ邁進しております。

また、中長期的な成長を継続するための経営基盤の強化にむけ、業務効率化による生産性の向上、物流サービスと輸送事業の連携強化による総合的なロジスティクス提案力の強化、外注業務の内製化を中心とするコストコントロールの強化に取り組んでおります。

当期中におきましては、2021年4月30日付で高岡通運株式会社、2022年3月1日付で株式会社サンライズトランスポートを新たに連結子会社化し、当社グループの一層の連携強化をはかり、経営基盤と事業規模の拡大を通じた物流事業基盤の更なる強化を行いました。

その結果、当社グループの当期経営成績は、営業収益において1,353億61百万円と、前期に比べ6億65百万円(0.5%)の増収となりました。利益面におきましては、業務効率化およびコストコントロール機能強化に努めた結果、営業利益は73億69百万円と、前期に比べ9億13百万円(14.2%)の増益となりました。

当期の期末配当金につきましては、普通配当金10円を増配し、60円とさせていただきます。既に実施済の中間配当金60円と合わせた年間配当金は120円となります。

今後も、新しい社会構造の中、当社グループのあらゆるステージを変革することで、次世代の物流企業への進化を通じた企業価値の向上を実現し、社会の持続的な発展へ貢献する企業をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長

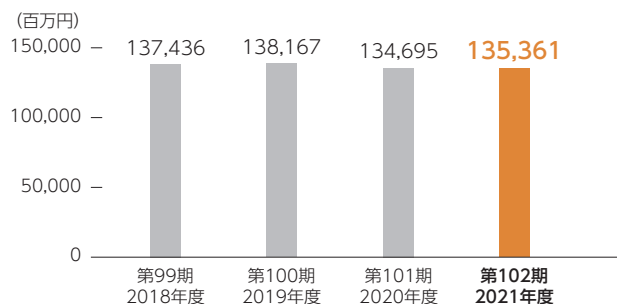
綿貫 勝介

財務ハイライト

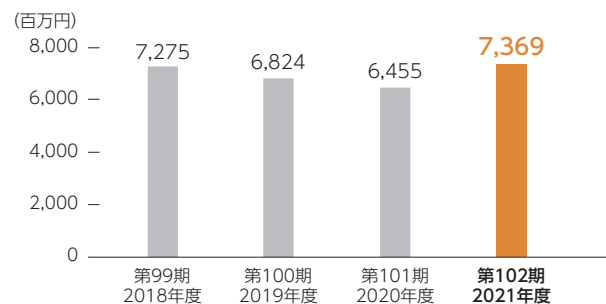
主要連結財務データ

	第99期 (2018年度)	第100期 (2019年度)	第101期 (2020年度)	第102期 当期 (2021年度)
営業収益	137,436 百万円	138,167 百万円	134,695 百万円	135,361 百万円
営業利益	7,275 百万円	6,824 百万円	6,455 百万円	7,369 百万円
経常利益	7,781 百万円	7,329 百万円	7,146 百万円	7,906 百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	4,539 百万円	4,125 百万円	4,660 百万円	5,110 百万円
1株当たり当期純利益	500.74 円	455.18 円	514.23 円	563.99 円
総資産	136,759 百万円	145,531 百万円	150,777 百万円	154,263 百万円
純資産	69,754 百万円	71,225 百万円	77,214 百万円	80,920 百万円
1株当たり純資産	7,690.92 円	7,852.22 円	8,480.52 円	8,876.71 円
自己資本利益率 (ROE)	6.8 %	5.9 %	6.3 %	6.5 %

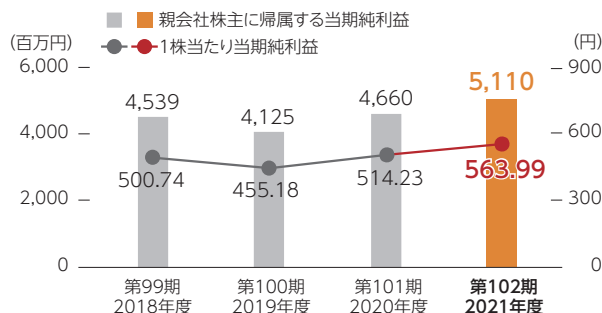
連結営業収益



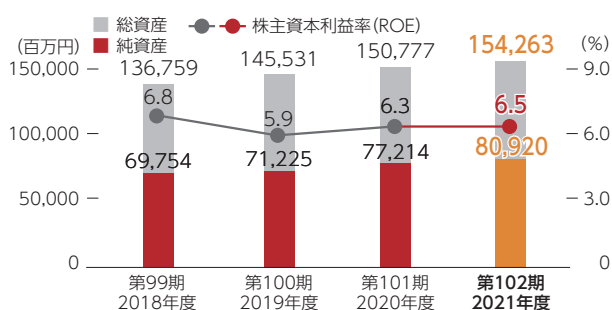
連結営業利益



親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益

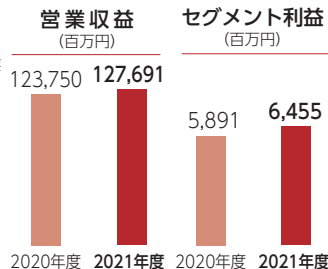
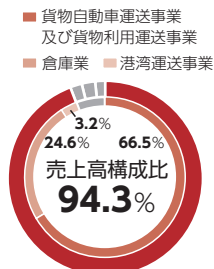


総資産・純資産・自己資本利益率(ROE)



セグメント別概況

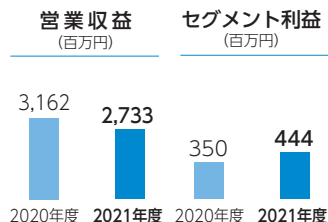
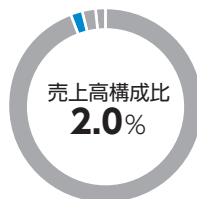
物流関連事業



物流関連事業は、貨物輸送量の回復などにより、営業収益は1,276億91百万円と、前期に比べ39億40百万円(3.2%)の増収となりました。

セグメント利益は64億55百万円を計上し、前期に比べ5億64百万円(9.6%)の増益となりました。

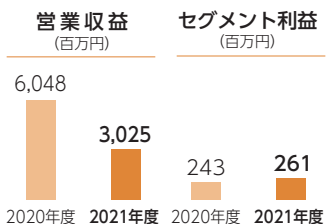
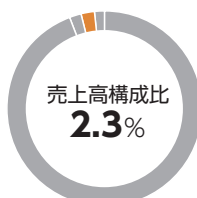
情報処理事業



情報処理事業の営業収益は27億33百万円と、前期に比べ4億29百万円(13.6%)の減収となりました。

セグメント利益は4億44百万円を計上し、前期に比べ93百万円(26.6%)の増益となりました。

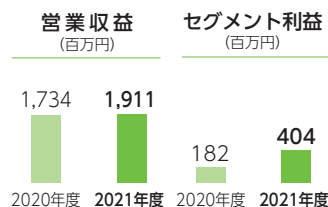
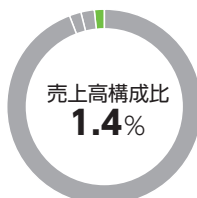
販売事業



物品販売ならびに委託売買業、損害保険代理業等の販売事業における営業収益は収益認識会計基準の変更により30億25百万円と、前期に比べ30億22百万円(50.0%)の減収となりました。

セグメント利益は2億61百万円を計上し、前期に比べ17百万円(7.4%)の増益となりました。

その他



その他では、自動車修理業やその他事業などで営業収益は19億11百万円と、前期に比べ1億76百万円(10.2%)の増収となりました。

セグメント利益は4億4百万円を計上し、前期に比べ2億21百万円(121.8%)の増益となりました。

次期の見通し&資本政策

次期の見通し

今後の経済情勢につきましては、まん延防止等重点措置の解除とワクチン接種の進展により、社会経済活動が正常化にむかい、持ち直しの動きが期待される一方で、新たな変異株の出現やウクライナ情勢の長期化による経済活動の抑制や下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続くものと予想されております。

このような経営環境の中で、当社グループは、「第22次中期経営計画(2021年4月1日～2024年3月31日):コーポレート・スローガン『TONAMI NEW PLAN 2023』」の2年目の取組みを進めております。DXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ、物流サービスと輸送事業の連携強化に取組み、新たな社会構造の中で中長期的な成長を継続してまいります。

【第22次中期経営計画における5つの重点戦略】

- ✓ 特別積合せの複合ビジネスとしての戦略展開によるロジスティクスビジネスの成長
- ✓ TDXによる業務効率の向上(TONAMI デジタルトランスフォーメーション)
- ✓ 多様な人材の採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築
- ✓ 自己資本比率の向上と安定した資本政策
- ✓ 経営品質(CSR・BCP)と成長性(ESG)評価や社会的認知度の向上

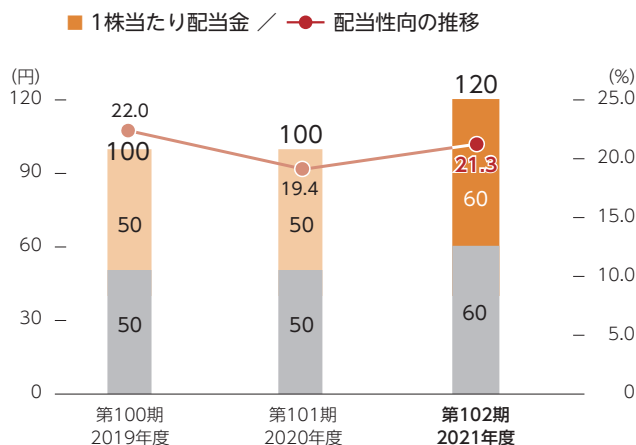
連結業績予想

営業収益	145,000	百万円 (前期比 7.1%増)
営業利益	7,800	百万円 (前期比 5.8%増)
経常利益	8,200	百万円 (前期比 3.7%増)
親会社株主に 帰属する当期純利益	5,600	百万円 (前期比 9.6%増)

利益配分に関する基本方針

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しており、将来の事業展開に備えた成長投資の原資を確保しつつ、財務の健全性を維持することを前提に、キャッシュ・フローの水準等にも留意して、株主の皆様へ安定配当を行うことを基本としております。

この方針の下、当期の業績や財務状況、今後の経営環境等を総合的に勘案いたしまして、中長期的な視点に立ち、今後も成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、継続的な成長と企業価値向上に努め、株主の皆様への利益還元をはかりたいと考えております。



連結財務データ

連結貸借対照表

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 2022年 3 月31日現在	前連結会計年度 2021年 3 月31日現在
資産の部		
流動資産	57,818	54,174
現金及び預金	30,395	27,785
受取手形	1,968	2,821
営業未収入金	—	20,175
営業未収入金及び契約資産	21,535	—
その他の流動資産	4,058	3,561
貸倒引当金	△139	△169
固定資産	96,444	96,602
有形固定資産	(76,730)	(76,075)
建物及び構築物	20,537	18,884
機械装置及び運搬具	3,512	3,705
土地	44,593	44,237
その他の有形固定資産	8,086	9,247
無形固定資産	(819)	(1,025)
投資その他の資産	(18,895)	(19,502)
資産合計	154,263	150,777
負債の部		
流動負債	34,252	36,392
支払手形	949	970
営業未払金	12,383	12,186
短期借入金	8,520	8,570
1年内返済予定の長期借入金	711	2,762
その他の流動負債	11,687	11,901
固定負債	39,090	37,170
社債	10,000	10,000
長期借入金	8,127	6,696
その他の固定負債	20,962	20,474
負債合計	73,342	73,563
純資産の部		
株主資本	69,982	65,866
資本金	14,182	14,182
資本剰余金	11,708	11,705
利益剰余金	46,167	42,050
自己株式	△2,076	△2,072
その他の包括利益累計額	10,456	10,989
非支配株主持分	481	358
純資産合計	80,920	77,214
負債純資産合計	154,263	150,777

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、流動資産の営業未収入金は、営業未収入金及び契約資産の区分に表示する方法に変更しました。

連結損益計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 2021年 4 月 1 日から 2022年 3 月31日まで	前連結会計年度 2020年 4 月 1 日から 2021年 3 月31日まで
営業収益	135,361	134,695
営業原価	120,533	121,068
営業総利益	14,828	13,627
販売費及び一般管理費	7,458	7,171
営業利益	7,369	6,455
営業外収益	857	1,049
営業外費用	321	358
経常利益	7,906	7,146
特別利益	263	847
特別損失	475	765
税金等調整前当期純利益	7,693	7,228
法人税、住民税及び事業税	2,490	2,411
法人税等調整額	9	154
当期純利益	5,193	4,663
非支配株主に帰属する当期純利益	82	2
親会社株主に帰属する当期純利益	5,110	4,660

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円、単位未満切り捨て)

科 目	当連結会計年度 2021年 4 月 1 日から 2022年 3 月31日まで	前連結会計年度 2020年 4 月 1 日から 2021年 3 月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,826	9,581
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,050	△5,435
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,328	△9,227
現金及び現金同等物の増減額	2,447	△5,082
現金及び現金同等物の期首残高	27,526	32,608
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	1	—
現金及び現金同等物の期末残高	29,975	27,526

第22次中期経営計画(2021年4月1日～2024年3月31日)

TONAMI NEW PLAN 2023 進捗状況

— 基本方針 —

DXによる業務効率化を更に推進し生産性を上げ、
物流サービスと輸送事業の連携強化により、
新たな社会構造の中で**中長期的な成長を継続**する

重点戦略

特別積合せの複合ビジネスとしての
戦略展開による
ロジスティクスビジネスの成長

TDXによる業務効率の向上
(TONAMI デジタルトランス
フォーメーション)

多様な人材の採用確保、事業形態や
地域特性に応じた
人事制度の構築

自己資本比率の向上と
安定した資本政策

経営品質(CSR・BCP)と
成長性(ESG)評価や社会的認知度の向上

戦略ロードマップ

経営目標達成

戦略展開

戦略展開体制強化

Vision

特積系総合物流事業者
TOP3

営業収益 **2,000億円**
営業利益 **100億円**

最終年度

営業収益 **1,600億円**
営業利益 **80億円**

事業の成長

輸送サービスと連携を強化した物流サービスの開発による
事業展開、M&Aや事業再編の推進

事業基盤の変革

TDXによる業務効率の向上、物流輸送の高度化

人材の確保

多様な人材の採用確保、事業形態や地域特性に応じた人事制度の構築

資本形成

自己資本比率の向上と安定した資本政策

2021年度

2022年度

2023年度

TONAMI NEW PLAN 2023 進捗状況

重点戦略に関する取組み

株式会社サンライズトランスポートを子会社化

当社は2022年3月、岩手県一関市の株式会社サンライズトランスポートの全株式を取得し、同社はグループ事業子会社となりました。

同社は、東北エリアで工夫を凝らした配車力を強みとして、物流サービスの展開をはかっており、当該地域に拠点が少ない当社グループと連携し、総合的なロジスティクス提案力を強化することにより、業容の一層の拡大が期待されます。

また、グループインフラの利活用をはじめとする経営資源の連携や情報システムの共有など協業化を進め、生産性の拡大をはかることにより、更なる企業価値の向上に取組んでいます。

会社概要

商号	株式会社サンライズトランスポート
本所在地	岩手県一関市東山町長坂字町176番地
代表者	代表取締役社長 木暮 一正
事業内容	一般貨物自動車運送事業、貨物利用運送事業
資本金	22百万円
設立年月日	1992年9月1日

集配車デジタルタコグラフを通信型に更新

トナミ運輸(株)は、通信型の集配車デジタルタコグラフの導入を開始しました。2021年11月の富山支店を皮切りに、2022年3月から全店展開を開始し、特積事業所に加え、航空部門や引越部門、通運部門などの車両にも導入してまいります。

【特徴】

1. GPSにより位置情報を確認可能
2. メッセージ機能による連絡可能
3. 前方・室内2箇所カメラを標準装備
4. 大型ディスプレイとの連動による管理



大型ディスプレイの位置情報確認画面

トナミホールディングスグループ初となるEVトラックを導入

脱炭素社会実現にむけた取組みを推進するとともに、ESG経営の取組みの一環として、2022年3月、トナミ運輸(株) 富山支店にEVトラックを2台導入しました。

詳細は9ページをご覧ください。➡

トナミホールディングスグループ初となるEVトラックを導入

脱炭素社会実現にむけた取組みを推進するとともに、ESG経営の取組みの一環として、2022年3月、トナミ運輸(株) 富山支店にEVトラックを2台導入しました。

当社グループ初、そして富山県でも初のEVトラック導入となり、また、EVトラックとしては全国初のサイドオープン車仕様となっています。

1 車両の仕様について

- ① 車両メーカー 三菱ふそうトラック・バス(株)製
- ② 最大積載量 3.0トン
- ③ 充電時間 普通充電 約11時間
(日中の集配業務で利用することから夜間充電する)
- ④ 航続距離 JE05モードで100km
(JE05モードは中・大型車
(主にディーゼル重量車)に実施される
燃費の試験モード(過渡走行モード))
- ⑤ 安全装備 衝突被害軽減ブレーキ、車両安定性制御装置、車線逸脱警報装置

2 運用について

- ① 所属事業所 トナミ運輸(株) 富山支店(富山県富山市宮町)
- ② 運用内容 富山市内エリアで日中集配業務に利用
- ③ 運用開始 2022年3月4日より

3 今後の取組みについて

CO₂や汚染物質を排出しないゼロ・エミッション輸送をめざし、今回の導入による実地検証を踏まえて全国展開にむけた導入を検討してまいります。



EVトラック

TOPICS

2

バドミントン男子ダブルス BWFワールドツアーファイナルズ2021 第26回世界バドミントン選手権大会

保木・小林ペアが日本勢として初の快挙 2冠を達成

2021年12月1日～5日に、バドミントンのツアー大会の年間チャンピオンを決める「BWFワールドツアーファイナルズ2021」がインドネシア・バリで開催され、トナミ運輸バドミントン部所属の保木卓朗選手と小林優吾選手のペア（以下、ホキコバペア）が、世界ランキング1位のギデオン・スカムルヨペア（インドネシア）を2－1で撃破し、初優勝を果たしました。男子ダブルスで、日本勢のペアが年間チャンピオンになるのは、史上初めての快挙となります。

また、2021年12月12日～19日にスペイン・ウエルバで開催された、「第26回世界バドミントン選手権大会」においても、ホキコバペアが、決勝で何済庭・譚強ペア（中国）を退け、世界選手権初優勝を果たしました。世界選手権において男子ダブルスで、日本勢が優勝するのは、史上初めての快挙で、BWFワールドツアーファイナルズとの2冠を達成しました。



選手コメント

● 保木選手

うれしいです。それしかないです。いいコンディションを常にキープできたことは、成長したかなと感じていて、この調子をずっと維持できるように来年も頑張ります。

● 小林選手

最後まで自分を信じてプレーすることができました。このタイトルを手にすることができ、本当にうれしいですし、支えてくれた家族やスタッフ、パートナーに感謝しかありません。



BWFワールドツアーファイナルズ2021
写真左から保木選手、小林選手



第26回世界バドミントン選手権大会
写真左から小林選手、保木選手

トナミホールディングス株式会社

■ 設立	1943年6月1日
■ 資本金	141億82百万円
■ 本社所在地	富山県高岡市昭和町3丁目2番12号 (〒933-8788)
■ 連結従業員数	6,742名
■ 役員 (2022年6月29日現在)	
代表取締役社長	綿 貫 勝 介
専務取締役	高 田 和 夫
専務取締役	泉 伸 一
常務取締役	寺 拝 豊 信
取締役	佐 藤 公 昭
社外取締役	犬 島 伸 一 郎
社外取締役	早 水 暢 哉
社外取締役	笠 井 千 秋
常勤監査役	三 枝 保 弘
常勤監査役	輪 達 光 春
社外監査役	松 村 篤 樹
社外監査役	尾 田 利 之

トナミホールディングスグループ

物流事業子会社

- トナミ運輸株式会社
- トナミ運輸信越株式会社
- トナミ運輸中国株式会社
- 京神倉庫株式会社
- トナミ国際物流株式会社
- 株式会社サンライズトランスポート
- 株式会社テイクワン
- 株式会社ケーワイケー
- 関東トナミ運輸株式会社
- トナミ首都圏物流株式会社
- 新潟トナミ運輸株式会社
- 北陸トナミ運輸株式会社
- 高岡通運株式会社
- 石川トナミ運輸株式会社
- 福井トナミ運輸株式会社
- 阿南自動車株式会社
- トナミ第一倉庫物流株式会社
- 株式会社御幸倉庫
- トナミ近畿物流株式会社
- 中央冷蔵株式会社
- 新生倉庫運輸株式会社

関連事業子会社

- トナミビジネスサービス株式会社
- トナミ商事株式会社
- 東洋ゴム北陸販売株式会社
- トナミシステムソリューションズ株式会社

その他関連会社

- 北海道トナミ運輸株式会社
- 高岡ケーブルネットワーク株式会社
- ジャパン・トランス・ライン株式会社
- 東砺運輸株式会社
- 株式会社ジェスコ

海外現地法人

- 托納美物流（大連）有限公司
- TONAMI (THAILAND) Co., Ltd.
(トナミ タイランド カンパニー リミテッド)
- MAHAPORN TRANSPORT Co., Ltd.
(マハポーン トランスポート カンパニー リミテッド)
- H&R Forwarding Co., Ltd.
(エイチ アンド アール フォワーディング カンパニー リミテッド)

トナミ運輸株式会社

- 設立 2008年10月1日
- 資本金 100億円
- 本社所在地 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号
(〒933-8566)

■ 役員 (2022年6月17日現在)

代表取締役社長	綿 貫 勝 介
専務取締役	高 田 和 夫
専務取締役	泉 伸 一
常務取締役	寺 拝 豊 信
常務取締役	山 本 和 人
常務取締役	高 田 一 哉
常務取締役	佐 藤 公 昭
取締役上席執行役員	飛 弾 芳 彦
取締役上席執行役員	小 島 鉄 也
取締役上席執行役員	星 山 宗 洙
取締役上席執行役員	松 永 隆
取締役上席執行役員	桶 田 篤 史
取締役上席執行役員	鈴 木 勝 範
取締役上席執行役員	齋 藤 英 三 郎
取締役上席執行役員	高 柳 幸 司
取締役上席執行役員	綿 貫 雄 介
監査役	三 枝 保 弘
監査役	輪 達 光 春

■ トナミ運輸株式会社 主要な事業所

東京都	東京支店、京浜支店、葛西支店、板橋支店、足立支店、江東流通センター、東京航空支店、TSM東京支店、東京北航空支店、国際東京支店、通運東京支店
千葉県	千葉支店、野田支店、千葉流通センター、柏インター流通センター、千葉引越センター、野田整備工場
茨城県	鹿島支店、新関東流通センター
神奈川県	横浜営業所、川崎支店、相模支店、東横浜支店、川崎流通センター、東横浜流通センター、相模流通センター、平塚流通センター、神奈川流通センター、東神引越センター
埼玉県	久喜支店、浦和支店、熊谷支店、久喜流通センター、浦和流通センター、春日部流通センター、北関東引越センター
栃木県	栃木支店
群馬県	高崎支店
富山県	中央支店、黒部営業所、富山支店、砺波支店、通運高岡支店、小矢部流通センター、富山流通センター、小杉流通センター、新港流通センター、富山引越センター、富山航空支店、国際富山支店、砺波整備工場、ほくりく産品インフォメーションセンター
石川県	金沢支店、小松支店、能登支店、北陸引越センター、金沢航空支店、金沢整備工場
福井県	福井支店、敦賀営業所、武生営業所、福井航空支店、福井整備工場
岐阜県	岐阜営業所、高山連絡所
愛知県	名岐支店、港支店、小牧支店、岡崎営業所、豊橋営業所、小牧流通センター、小牧第2流通センター、清須流通センター、名岐流通センター、東海引越センター、名古屋整備工場
三重県	四日市営業所、上野営業所、四日市流通センター
静岡県	静岡支店、浜松支店、富士支店、藤枝営業所
滋賀県	滋賀支店、滋賀整備工場
京都府	京都支店、京都流通センター、京阪流通センター
大阪府	南大阪支店、東大阪支店、大阪中央支店、泉佐野支店、北大阪支店、大阪中央流通センター、関西センター、西淀川流通センター、東大阪流通センター、南大阪流通センター、南大阪流通第2センター、泉佐野流通センター、関西引越センター、大阪航空支店、関西航空支店
奈良県	奈良営業所、奈良流通センター、奈良第2流通センター
兵庫県	尼崎支店、神戸支店、加古川支店、加古川流通センター

トナミ運輸信越株式会社

- 本社所在地 新潟県新潟市西区北場1087-1

■ トナミ運輸信越株式会社 主要な事業所

長野県	長野支店、上田営業所
新潟県	新潟支店、長岡支店、上越営業所、新潟流通センター、長岡流通センター、燕物流センター、新潟引越センター、新潟整備工場

トナミ運輸中国株式会社

- 本社所在地 広島県広島市西区草津港3-2-1

■ トナミ運輸中国株式会社 主要な事業所

岡山県	岡山支店、岡山流通センター
広島県	広島支店、福山営業所、尾道営業所、広島航空支店、通運大竹営業所、通運広島支店
山口県	徳山営業所

株式の状況 (2022年3月31日現在)

株式の状況

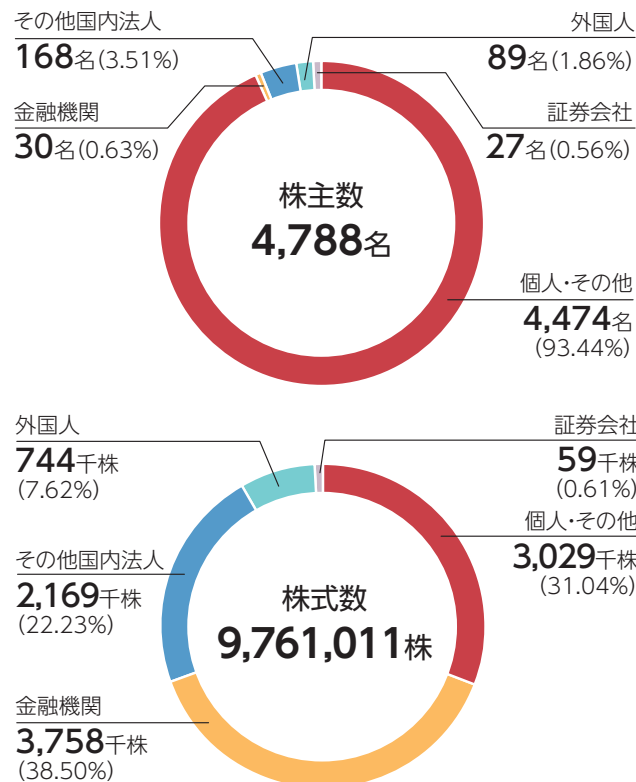
発行可能株式総数	29,920,000株
発行済株式の総数	9,761,011株
株主数	4,788名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
明治安田生命保険相互会社	694	7.67
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	667	7.37
株式会社日本カストディ銀行	583	6.43
トナミ運輸従業員持株会	471	5.20
トナミ共栄会	416	4.60
株式会社北陸銀行	336	3.71
三菱ふそうトラック・バス株式会社	325	3.59
東京海上日動火災保険株式会社	322	3.56
トナミ親和会	306	3.38
TOYO TIRE 株式会社	299	3.30

(注) 上記のほか当社所有の自己株式697千株があります。

所有者区別株式分布状況



IRカレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	定期決算発表			第1四半期決算発表			第2四半期決算発表			第3四半期決算発表	
		定時株主総会									

トナミホールディングスのホームページ

トナミホールディングスのホームページでは、決算情報、リリースなど、最新の情報を掲載しております。また、トナミホールディングスグループの詳しい情報も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

トナミホールディングス

検索

 <https://www.tonamiholdings.co.jp/>



クリック!

投資家情報



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

公告方法 当社のホームページに掲載します。

<https://www.tonamiholdings.co.jp/investor/public-notice/>

(ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。)

株主名簿管理人
及び特別口座の
口座管理機関

(郵便物送付先)

(電話照会先)

上場証券取引所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル 0120-782-031

(受付時間：土・日・祝日・年末年始を除く
9：00～17：00)

東京証券取引所

住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について

証券会社などの口座で
株式を保有されている株主様

お取引のある証券会社にお問い合わせください。

特別口座で株式を保有されている株主様

三井住友信託銀行にお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-782-031

(受付時間：土・日・祝日・年末年始を除く9：00～17：00)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行にお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120-782-031 (受付時間：土・日・祝日・年末年始を除く9：00～17：00)

トナミホールディングス株式会社

TONAMI HOLDINGS CO.,LTD.

〒933-8788 富山県高岡市昭和町3丁目2番12号

TEL：(0766) 32-1073（代表）

FAX：(0766) 32-1077



見やすく読みましがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。